

重複世代経済における経済成長および環境保全

塩澤 修平*

檀原 浩志†

大滝 英生‡

概要

本稿では環境を一つのストック変数として捉え、重複世代モデルの枠組みにおいて、競争的な市場取引の結果として社会的に望ましい資本蓄積および環境の水準の組が実現可能であるかを分析する。その結果、競争的な市場取引の結果として社会的に望ましい資本蓄積および環境の水準の組を実現することは不可能であることが示される。特に、経済が動学的に非効率的であるとき、過剰な環境整備が行われる可能性が示される。本稿では更に、過剰な環境整備を回避する為の手段について考察する。

キーワード： 経済成長, 環境, 重複世代経済, 貨幣.

*慶應義塾大学経済学部教授。e-mail: shiozawa@econ.keio.ac.jp

†慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程。e-mail: dh4189.fractal@gmail.com

‡慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程。慶應義塾大学経済学部助教 (研究)。e-mail: ohtaki@gs.econ.keio.ac.jp